

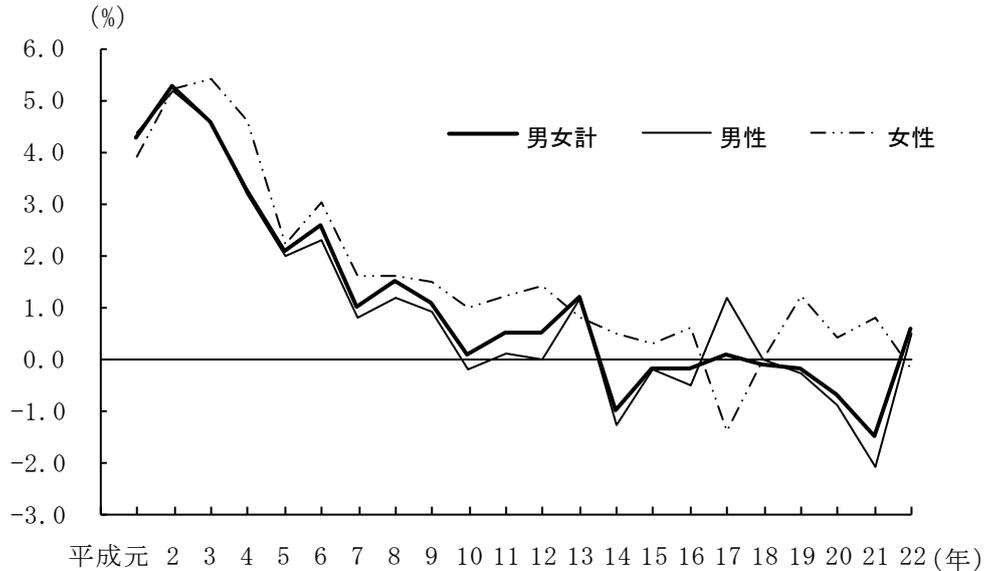
II 調査結果の概況

1 一般労働者の賃金

(1) 賃金の推移

賃金は、男女計296.2千円(平均41.3歳、勤続11.9年)、男性328.3千円(平均42.1歳、勤続13.3年)、女性227.6千円(平均39.6歳、勤続8.9年)となっており、前年と比べると、男女計では0.6%、男性では0.5%それぞれ上昇し、女性では0.2%低下している(第1図、第1表)。

第1図 性別賃金の対前年増減率の推移



第1表 性別賃金及び対前年増減率の推移

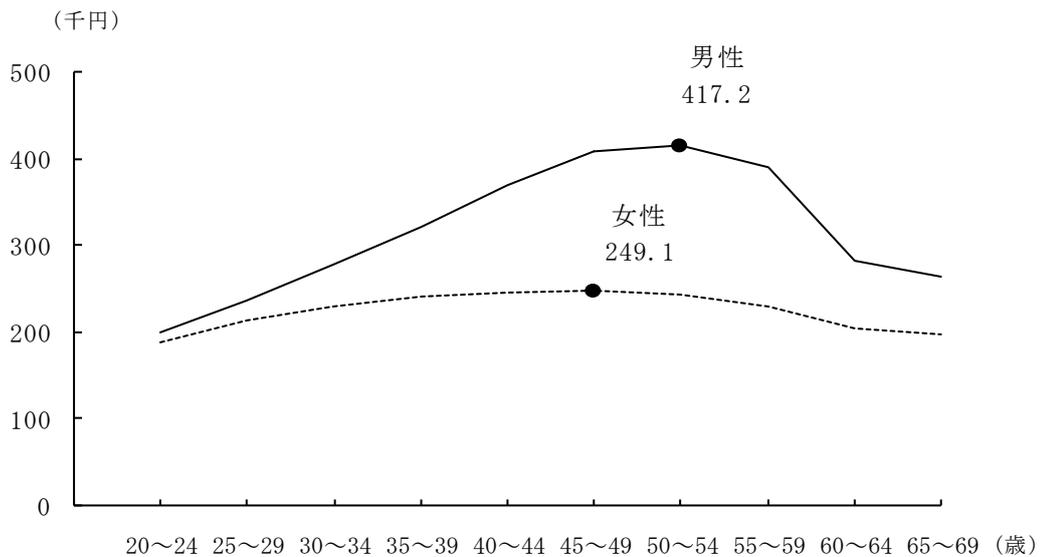
年	男女計		男性		女性	
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)
平成 元 年	241.8	4.3	276.1	4.4	166.3	3.9
2	254.7	5.3	290.5	5.2	175.0	5.2
3	266.3	4.6	303.8	4.6	184.4	5.4
4	275.2	3.3	313.5	3.2	192.8	4.6
5	281.1	2.1	319.9	2.0	197.0	2.2
6	288.4	2.6	327.4	2.3	203.0	3.0
7	291.3	1.0	330.0	0.8	206.2	1.6
8	295.6	1.5	334.0	1.2	209.6	1.6
9	298.9	1.1	337.0	0.9	212.7	1.5
10	299.1	0.1	336.4	-0.2	214.9	1.0
11	300.6	0.5	336.7	0.1	217.5	1.2
12	302.2	0.5	336.8	0.0	220.6	1.4
13	305.8	1.2	340.7	1.2	222.4	0.8
14	302.6	-1.0	336.2	-1.3	223.6	0.5
15	302.1	-0.2	335.5	-0.2	224.2	0.3
16	301.6	-0.2	333.9	-0.5	225.6	0.6
17	302.0	0.1	337.8	1.2	222.5	-1.4
18	301.8	-0.1	337.7	-0.0	222.6	0.0
19	301.1	-0.2	336.7	-0.3	225.2	1.2
20	299.1	-0.7	333.7	-0.9	226.1	0.4
21	294.5	-1.5	326.8	-2.1	228.0	0.8
22	296.2	0.6	328.3	0.5	227.6	-0.2
平成22年 平均年齢(歳)	41.3		42.1		39.6	
勤続年数(年)	11.9		13.3		8.9	

(2) 性別にみた賃金

性別に賃金カーブ*をみると、男性では、年齢階級が高くなるとともに賃金も上昇し、50～54歳で417.2千円（20～24歳の賃金を100とすると209）と賃金がピークとなり、その後下降している。女性では、45～49歳の249.1千円（同131）がピークとなっているが、男性に比べ、賃金カーブは緩やかとなっている。（第2図、第2表）

※賃金カーブとは、年齢(階級)とともに変化する賃金額の状況をグラフで表したものをいう。以下同じ。

第2図 性、年齢階級別賃金



注：線上の●印は賃金ピークを示す。以下同じ。

第2表 性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性			女性		
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20~24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20~24歳 =100)
年齢計	328.3	0.5	164	227.6	-0.2	120
20~24歳	199.8	0.1	100	189.5	-0.2	100
25~29	236.8	-0.4	119	215.0	0.4	113
30~34	278.4	-0.6	139	230.7	0.2	122
35~39	322.0	0.0	161	241.9	-1.4	128
40~44	370.5	-1.0	185	247.6	-0.5	131
45~49	409.2	0.7	205	249.1	-0.4	131
50~54	417.2	1.2	209	245.4	0.1	129
55~59	392.2	1.7	196	231.3	-0.9	122
60~64	283.2	-1.9	142	206.1	1.4	109
65~69	264.6	4.1	132	198.9	-1.4	105
平均年齢(歳)	42.1			39.6		
勤続年数(年)	13.3			8.9		

注：年齢計には、上掲の年齢階級に限らず、すべての年齢の者を含む。以下同じ。

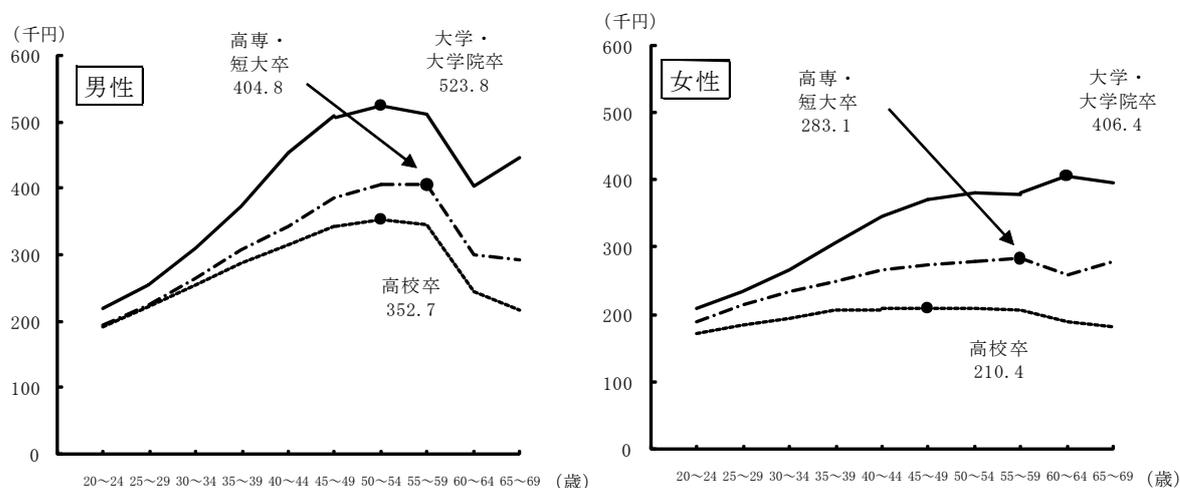
(3) 学歴別にみた賃金

学歴別に賃金をみると、男性では、大学・大学院卒が395.3千円（前年比0.4%減）、高専・短大卒が300.1千円（同1.4%増）、高校卒が289.1千円（同0.7%増）となっており、大学・大学院卒のみ前年を下回っている。女性では、大学・大学院卒が274.7千円（同1.7%減）、高専・短大卒が242.9千円（同0.7%増）、高校卒が199.4千円（同0.3%減）となっており、大学・大学院卒及び高校卒が前年を下回っている。

学歴別に賃金がピークとなる年齢階級をみると、男性では、大学・大学院卒及び高校卒で50～54歳、高専・短大卒で55～59歳、女性では、大学・大学院卒で60～64歳、高専・短大卒で55～59歳、高校卒で45～49歳となっている。

学歴別に賃金カーブをみると、男女いずれも大学・大学院卒の賃金カーブが急となっており、男性は女性に比べてその傾向が大きい。（第3図、第3表）

第3図 学歴、性、年齢階級別賃金



第3表 学歴、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

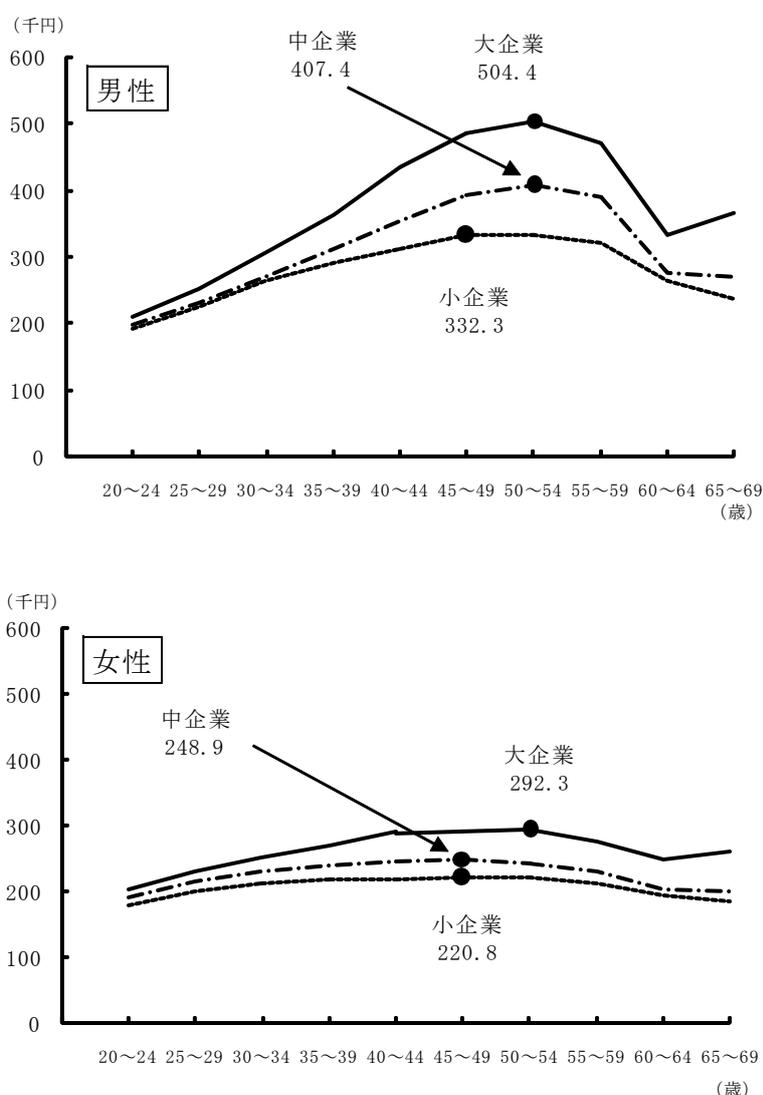
性・年齢階級	大学・大学院卒			高専・短大卒			高校卒			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	
男性	年齢計	395.3	-0.4	181	300.1	1.4	155	289.1	0.7	152
	20～24歳	218.2	0.5	100	193.5	-0.9	100	190.4	0.2	100
	25～29	252.8	-1.1	116	224.6	-0.7	116	221.8	0.1	116
	30～34	309.9	-1.0	142	264.4	-0.5	137	252.8	-0.6	133
	35～39	373.5	-0.6	171	306.0	-0.7	158	285.5	0.3	150
	40～44	454.3	-1.5	208	342.8	-2.6	177	314.4	1.0	165
	45～49	507.7	0.9	233	384.6	0.5	199	341.7	1.3	179
	50～54	523.8	1.4	240	404.6	3.1	209	352.7	0.8	185
	55～59	512.4	-0.5	235	404.8	1.7	209	345.4	0.8	181
	60～64	402.7	-6.9	185	299.5	0.2	155	242.9	-2.4	128
65～69	446.2	-0.1	204	290.9	7.9	150	216.3	0.5	114	
平均年齢(歳)	41.0			38.1			42.9			
勤続年数(年)	12.5			11.2			13.9			
女性	年齢計	274.7	-1.7	131	242.9	0.7	127	199.4	-0.3	116
	20～24歳	210.3	1.3	100	190.7	-0.9	100	172.5	0.2	100
	25～29	234.8	0.2	112	215.2	0.2	113	185.1	-0.1	107
	30～34	266.9	-1.1	127	235.2	0.8	123	194.1	-0.8	113
	35～39	307.0	-6.0	146	250.0	-1.5	131	208.3	1.6	121
	40～44	345.6	-6.0	164	267.0	1.1	140	208.7	-0.2	121
	45～49	372.4	-4.0	177	272.2	0.5	143	210.4	0.0	122
	50～54	381.3	-2.2	181	278.5	0.3	146	210.0	-0.3	122
	55～59	380.1	0.9	181	283.1	-2.0	148	208.9	-0.8	121
	60～64	406.4	13.4	193	258.3	-0.2	135	189.4	-1.4	110
65～69	395.2	-5.1	188	279.2	15.1	146	181.4	-9.3	105	
平均年齢(歳)	33.6			37.7			42.8			
勤続年数(年)	6.4			8.6			9.9			

(4) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に賃金をみると、男性では、大企業が382.9千円（前年比1.3%増）、中企業が316.7千円（同0.2%増）、小企業が285.3千円（同0.5%減）、女性では、大企業が254.6千円（同1.2%増）、中企業が227.3千円（同1.0%減）、小企業が206.8千円（同0.5%減）となっており、男性は大企業及び中企業が前年を上回り、女性は大企業が前年を上回っている。また、大企業の賃金を100とすると、中企業の賃金は、男性で83（前年84）、女性で89（同91）、小企業の賃金は、男性で75（同76）、女性で81（同83）となっている。

賃金がピークとなる年齢階級を企業規模別にみると、男性では、大企業及び中企業が50～54歳で、大企業504.4千円（20～24歳の賃金を100とすると240）、中企業407.4千円（同207）、小企業は、前年50～54歳であったが、45～49歳に移行し332.3千円（同173）となっている。女性では、大企業が50～54歳で、292.3千円（同145）であり、中企業及び小企業が45～49歳で、中企業248.9千円（同131）、小企業220.8千円（同123）となっており、男性に比べ賃金カーブが緩やかとなっている。（第4図、第4表）

第4図 企業規模、性、年齢階級別賃金



第4表 企業規模、性、年齢階級別賃金、対前年増減率、企業規模間賃金格差及び年齢階級間賃金格差

性、 年齢階級	大企業					中企業				小企業			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		
			企業規模 間格差 (大企業= 100)	年齢階級 間格差 (20~24 歳=100)			企業規模 間格差 (大企業= 100)	年齢階級 間格差 (20~24 歳=100)			企業規模 間格差 (大企業= 100)	年齢階級 間格差 (20~24 歳=100)	
男性	年齢計	382.9	1.3	100	183	316.7	0.2	83 (84)	161	285.3	-0.5	75 (76)	149
	20~24歳	209.8	1.1	100	100	196.5	-1.4	94 (96)	100	192.0	0.6	92 (92)	100
	25~29	253.3	-0.2	100	121	230.5	-0.7	91 (92)	117	225.5	-0.5	89 (89)	117
	30~34	304.8	-0.8	100	145	270.3	-0.3	89 (88)	138	262.4	-0.4	86 (86)	137
	35~39	362.1	-0.2	100	173	312.4	0.6	86 (86)	159	291.5	-0.4	81 (81)	152
	40~44	436.2	-0.6	100	208	353.7	-0.9	81 (81)	180	312.2	-1.6	72 (72)	163
	45~49	486.6	1.0	100	232	391.5	-0.1	80 (81)	199	332.3	-0.3	68 (69)	173
	50~54	504.4	1.8	100	240	407.4	1.7	81 (81)	207	331.6	-0.9	66 (68)	173
	55~59	471.2	4.5	100	225	389.2	0.1	83 (86)	198	321.2	-0.1	68 (71)	167
	60~64	333.6	4.6	100	159	274.5	-6.3	82 (92)	140	265.1	-2.0	79 (85)	138
	65~69	366.4	6.0	100	175	269.4	6.3	74 (73)	137	237.4	0.3	65 (68)	124
	平均年齢(歳)	41.4					41.7					43.3	
勤続年数(年)	15.8					12.8					11.2		
女性	年齢計	254.6	1.2	100	126	227.3	-1.0	89 (91)	120	206.8	-0.5	81 (83)	116
	20~24歳	202.0	0.3	100	100	189.3	-1.1	94 (95)	100	178.8	1.2	89 (88)	100
	25~29	229.1	-0.1	100	113	215.5	0.3	94 (94)	114	199.0	1.0	87 (86)	111
	30~34	250.0	1.0	100	124	230.5	-0.9	92 (94)	122	212.5	0.3	85 (86)	119
	35~39	269.4	0.7	100	133	240.6	-2.0	89 (92)	127	217.7	-2.9	81 (84)	122
	40~44	288.1	1.8	100	143	244.4	-2.2	85 (88)	129	218.6	-0.6	76 (78)	122
	45~49	290.0	0.3	100	144	248.9	-1.1	86 (87)	131	220.8	0.0	76 (76)	123
	50~54	292.3	3.1	100	145	243.4	-2.6	83 (88)	129	219.4	1.0	75 (77)	123
	55~59	272.8	0.3	100	135	231.4	-1.1	85 (86)	122	210.4	-1.3	77 (78)	118
	60~64	248.3	7.0	100	123	203.4	-0.1	82 (88)	107	192.5	0.5	78 (83)	108
	65~69	259.3	18.1	100	128	198.3	1.5	76 (89)	105	185.6	-7.2	72 (91)	104
	平均年齢(歳)	37.7					39.8					40.9	
勤続年数(年)	9.8					8.5					8.6		

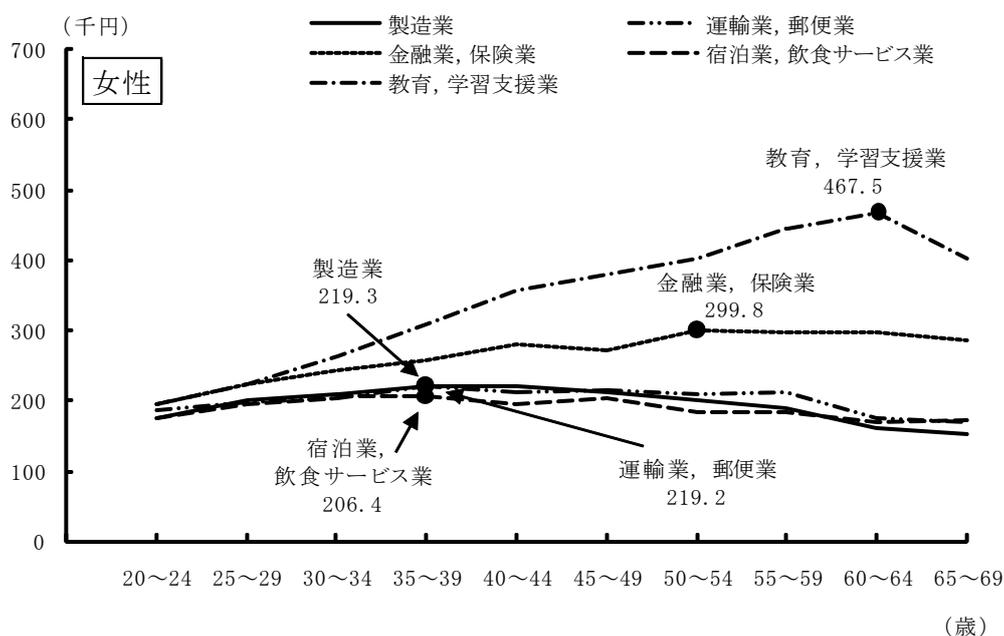
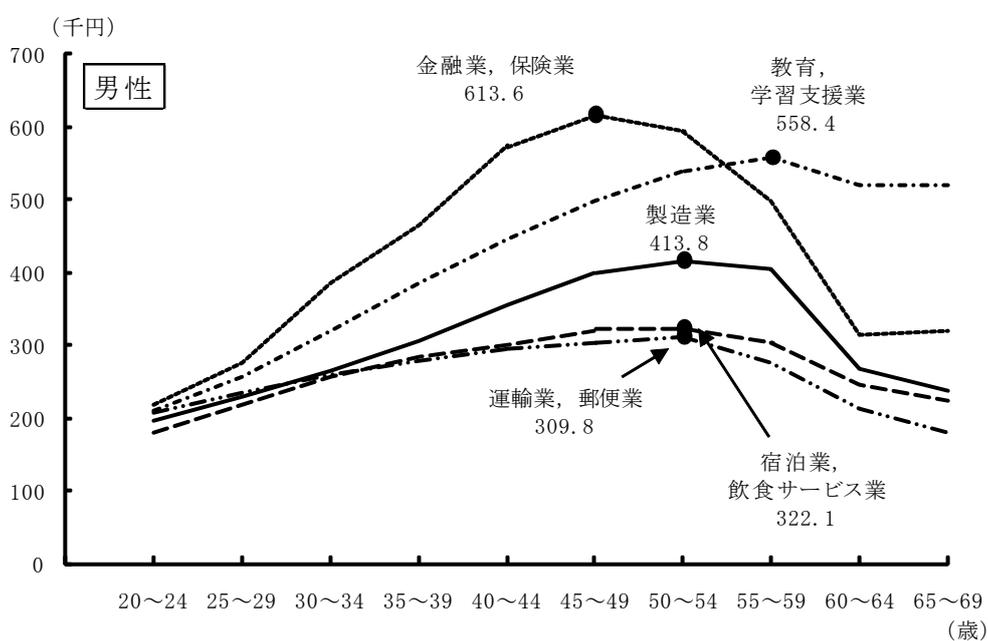
注：()内は、平成21年の数値である。

(5) 産業別にみた賃金

主な産業別に賃金をみると、男性では、金融業、保険業(467.1千円)が最も高く、次いで教育、学習支援業(445.8千円)となり、宿泊業、飲食サービス業(267.5千円)が最も低くなっている。女性では、教育、学習支援業(299.6千円)が最も高く、宿泊業、飲食サービス業(187.1千円)が最も低くなっている。

産業別に賃金カーブをみると、男性では、金融業、保険業は45～49歳で賃金がピークとなり、その後は大きく下降している。また、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業は他の産業に比べ賃金カーブが緩やかとなっている。女性では、金融業、保険業、教育、学習支援業は、年齢階級が高くなるとともにおおむね賃金も上昇しているが、製造業、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業は他の産業に比べ賃金カーブが緩やかとなっている。(第5図、第5表)

第5図 産業、性、年齢階級別賃金



第5表 主な産業、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

性、年齢階級		建設業	製造業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	サービス業（他に分類されないもの）	
男性	年齢計	320.9	318.6	382.9	269.2	333.5	467.1	407.6	267.5	284.3	445.8	351.6	273.2	
	20～24歳	201.4	194.6	220.4	205.5	202.6	217.0	210.7	178.2	198.0	209.8	198.7	187.2	
	25～29	238.2	228.4	252.7	233.2	238.0	273.3	262.2	217.3	231.8	255.7	238.3	222.4	
	30～34	276.5	263.9	314.0	257.7	283.4	384.3	335.0	254.9	282.3	318.6	272.7	251.4	
	35～39	317.1	305.2	386.2	277.1	324.4	464.2	388.6	282.8	307.7	385.4	342.8	282.9	
	40～44	355.9	354.1	434.4	293.9	377.7	572.4	435.2	300.9	351.0	444.9	417.7	309.6	
	45～49	381.8	397.5	508.5	304.0	413.6	613.6	511.8	320.7	347.9	498.7	490.9	332.5	
	50～54	389.0	413.8	572.4	309.8	425.3	592.6	533.9	322.1	371.2	538.2	496.7	316.9	
	55～59	377.5	401.7	522.9	274.7	419.9	495.0	511.1	304.0	318.1	558.4	502.7	310.1	
	60～64	291.4	266.9	330.5	212.1	282.4	312.4	411.1	245.0	243.8	518.8 *	437.5	229.1	
	65～69	254.8	236.5 *	449.6	179.2	250.1	319.5	381.8	221.2	210.1	518.9 *	451.4	200.0	
	対前年増減率(%)	-3.3	1.1	-0.5	2.9	-0.2	-0.2	3.7	-0.5	-0.3	-0.7	0.0	0.6	
	平均年齢(歳)	44.0	41.4	38.6	45.5	40.9	41.8	43.1	40.8	38.5	46.0	39.4	44.6	
	勤続年数(年)	14.0	15.0	13.2	12.0	13.6	15.5	12.4	8.9	8.6	14.1	8.4	9.6	
	年齢階級間賃金格差(20～24歳 100)	年齢計	159	164	174	131	165	215	193	150	144	212	177	146
		20～24歳	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		25～29	118	117	115	113	117	126	124	122	117	122	120	119
		30～34	137	136	142	125	140	177	159	143	143	152	137	134
		35～39	157	157	175	135	160	214	184	159	155	184	173	151
40～44		177	182	197	143	186	264	207	169	177	212	210	165	
45～49		190	204	231	148	204	283	243	180	176	238	247	178	
50～54		193	213	260	151	210	273	253	181	187	257	250	169	
55～59		187	206	237	134	207	228	243	171	161	266	253	166	
60～64		145	137	150	103	139	144	195	137	123	247	220	122	
65～69	127	122	204	87	123	147	181	124	106	247	227	107		
女性	年齢計	215.3	199.4	287.3	203.6	217.8	252.0	273.2	187.1	207.3	299.6	243.3	201.8	
	20～24歳	182.5	174.2	220.0	185.0	185.1	194.4	189.7	174.6	181.2	193.9	199.5	177.7	
	25～29	198.3	199.7	244.3	197.4	207.7	222.6	231.1	193.6	206.0	223.6	227.9	195.6	
	30～34	206.7	208.2	275.7	203.5	227.1	243.3	281.9	204.8	218.3	263.6	241.2	209.0	
	35～39	223.2	219.3	305.6	219.2	235.6	257.7	279.4	206.4	234.0	308.8	255.0	211.7	
	40～44	235.6	219.2	335.0	211.0	240.0	279.5	308.0	195.6	228.3	355.0	254.6	222.2	
	45～49	214.1	210.5	396.2	213.4	236.9	271.6	334.1	203.0	221.0	379.2	263.6	216.4	
	50～54	229.7	199.9	412.4	207.4	225.9	299.8	325.1	181.4	223.8	402.7	266.0	217.9	
	55～59	232.3	190.0	409.4	210.3	210.6	296.8	310.0	184.1	203.6	445.8	258.7	192.4	
	60～64	227.4	160.0	252.7	174.6	192.8	297.8	230.0	167.8	186.4	467.5	231.4	163.5	
	65～69	182.4	152.8 *	196.4	169.0	183.4	285.2	179.9	171.3	151.0	401.0	247.1	153.1	
	対前年増減率(%)	-1.2	1.4	3.7	0.3	-0.1	-2.5	0.7	0.1	-0.2	-2.3	-0.2	-2.1	
	平均年齢(歳)	41.3	41.5	34.2	40.1	38.1	38.6	36.9	40.8	38.2	37.4	39.9	41.3	
	勤続年数(年)	11.0	10.9	8.3	8.2	9.0	9.7	8.7	7.0	7.5	9.5	7.8	6.5	
	年齢階級間賃金格差(20～24歳 100)	年齢計	118	114	131	110	118	130	144	107	114	155	122	114
		20～24歳	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		25～29	109	115	111	107	112	115	122	111	114	115	114	110
		30～34	113	120	125	110	123	125	149	117	120	136	121	118
		35～39	122	126	139	118	127	133	147	118	129	159	128	119
40～44		129	126	152	114	130	144	162	112	126	183	128	125	
45～49		117	121	180	115	128	140	176	116	122	196	132	122	
50～54		126	115	187	112	122	154	171	104	124	208	133	123	
55～59		127	109	186	114	114	153	163	105	112	230	130	108	
60～64		125	92	115	94	104	153	121	96	103	241	116	92	
65～69	100	88	89	91	99	147	95	98	83	207	124	86		

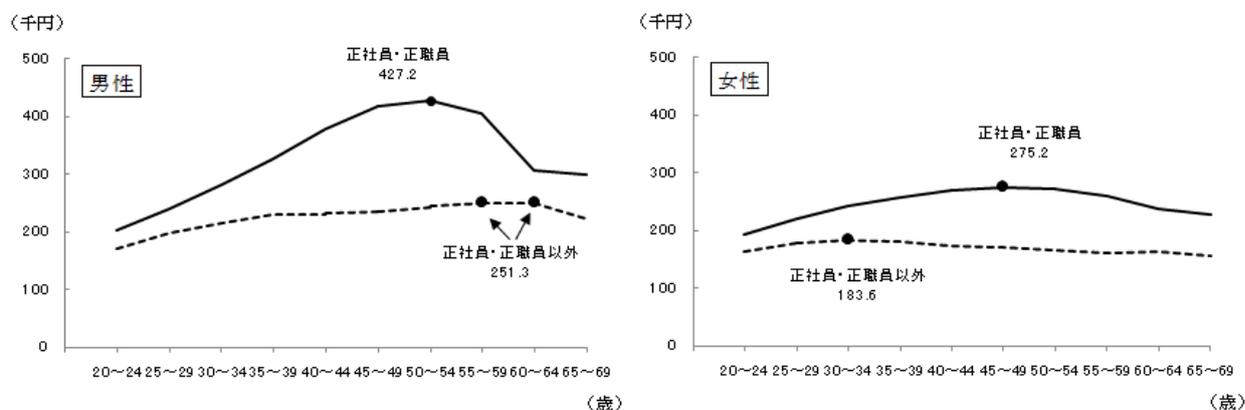
(6) 雇用形態別の賃金

雇用形態別の賃金をみると、正社員・正職員311.5千円（平均40.7歳、勤続12.6年）、正社員・正職員以外198.1千円（平均45.0歳、勤続6.8年）となっている。男女別にみると、男性では、正社員・正職員338.5千円（前年比0.3%増）、正社員・正職員以外228.8千円（同3.1%増）、女性では、正社員・正職員244.0千円（同0.3%減）、正社員・正職員以外170.9千円（同0.7%減）となっている。

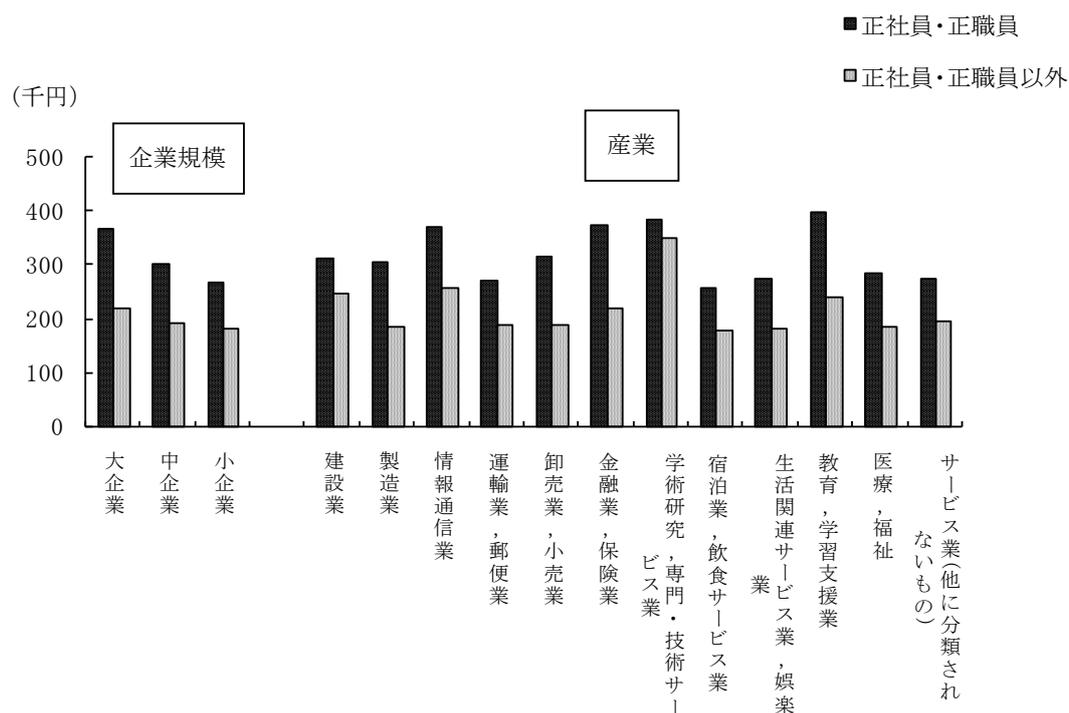
年齢階級別にみると、正社員・正職員以外は、男女いずれも年齢階級が高くなっても賃金の上昇があまり見られない。

正社員・正職員の賃金を100とすると、正社員・正職員以外の賃金は、男女計で64（前年63）、男性で68（同66）、女性で70（同70）となっている。なお、企業規模別では、大企業で60（同56）、主な産業別では、卸売業、小売業で59（同58）、金融業、保険業で59（同70）と、賃金格差が大きくなっている。（第6図、第7図、第6表、第7表、第8表）

第6図 雇用形態、性、年齢階級別賃金



第7図 雇用形態、企業規模・産業別賃金



第6表 雇用形態、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

年齢階級	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金(千円)	対前年増減率(%)	賃金(千円)	対前年増減率(%)		賃金(千円)	対前年増減率(%)	賃金(千円)	対前年増減率(%)		賃金(千円)	対前年増減率(%)	賃金(千円)	対前年増減率(%)	
年齢計	311.5	0.4	198.1	1.8	64 (63)	338.5	0.3	228.8	3.1	68 (66)	244.0	-0.3	170.9	-0.7	70 (70)
20～24歳	199.1	-0.1	166.6	-2.1	84 (85)	203.1	0.0	172.0	-1.8	85 (86)	194.4	-0.2	162.5	-2.3	84 (85)
25～29	233.8	-0.2	188.0	0.0	80 (80)	240.8	-0.5	198.3	0.1	82 (82)	222.2	0.2	179.1	-0.7	81 (81)
30～34	271.7	-0.1	198.3	-0.9	73 (74)	283.0	-0.5	217.4	-1.2	77 (77)	242.7	0.5	183.6	-1.5	76 (77)
35～39	309.8	-0.3	201.1	0.8	65 (64)	326.9	0.0	231.5	0.8	71 (70)	257.6	-1.8	181.7	0.1	71 (69)
40～44	351.9	-0.3	192.7	-0.9	55 (55)	377.2	-1.0	232.4	-2.4	62 (62)	270.4	-0.4	172.2	-1.0	64 (64)
45～49	381.8	0.6	189.7	-0.4	50 (50)	417.2	0.6	235.7	-1.1	56 (58)	275.2	-0.6	170.5	0.6	62 (61)
50～54	388.6	0.7	192.5	1.2	50 (49)	427.2	0.8	244.4	2.8	57 (56)	272.3	-0.6	165.3	0.2	61 (60)
55～59	371.5	1.0	199.7	1.8	54 (53)	405.7	1.2	251.3	5.9	62 (59)	260.4	-0.5	160.5	-0.8	62 (62)
60～64	287.8	-4.0	226.6	5.3	79 (72)	305.3	-4.4	251.3	5.9	82 (74)	238.5	1.0	163.1	-0.1	68 (69)
65～69	280.0	2.3	207.7	7.7	74 (70)	299.2	3.6	223.8	8.2	75 (72)	229.0	-2.6	155.4	-3.7	68 (69)
平均年齢(歳)	40.7		45.0			41.5		47.4			38.7		42.9		
勤続年数(年)	12.6		6.8			13.8		7.6			9.7		6.0		

注：()内は、平成21年の数値である。

第7表 雇用形態、性、企業規模別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

企業規模	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金(千円)	対前年増減率(%)	賃金(千円)	対前年増減率(%)		賃金(千円)	対前年増減率(%)	賃金(千円)	対前年増減率(%)		賃金(千円)	対前年増減率(%)	賃金(千円)	対前年増減率(%)	
大企業	367.1	0.7	219.8	7.3	60 (56)	395.0	0.8	256.7	10.6	65 (59)	277.0	-0.1	183.6	0.6	66 (66)
中企業	303.3	0.3	192.9	-0.4	64 (64)	328.3	0.2	219.7	-0.1	67 (67)	246.1	-0.7	170.9	-1.4	69 (70)
小企業	269.1	-0.3	183.4	-0.7	68 (68)	291.8	-0.5	212.0	-1.1	73 (73)	217.7	-0.5	157.9	0.1	73 (72)

注：()内は、平成21年の数値である。

第8表 雇用形態、性、主な産業別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

産業	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金(千円)	対前年増減率(%)	賃金(千円)	対前年増減率(%)		賃金(千円)	対前年増減率(%)	賃金(千円)	対前年増減率(%)		賃金(千円)	対前年増減率(%)	賃金(千円)	対前年増減率(%)	
産業計	311.5	0.4	198.1	1.8	64 (63)	338.5	0.3	228.8	3.1	68 (66)	244.0	-0.3	170.9	-0.7	70 (70)
建設業	313.7	-3.5	247.1	-1.1	79 (77)	325.9	-3.3	260.8	-3.3	80 (80)	220.1	-2.2	177.3	-3.3	81 (81)
製造業	306.7	2.0	186.8	1.2	61 (61)	327.4	1.5	215.6	-0.6	66 (67)	214.9	1.9	156.7	-0.3	73 (74)
情報通信業	370.1	0.7	257.6	6.3	70 (66)	385.9	-0.8	305.9	6.0	79 (74)	300.7	3.3	211.9	4.4	70 (70)
運輸業、郵便業	271.2	1.9	188.4	0.2	69 (71)	276.4	2.2	197.9	0.2	72 (73)	219.9	-1.1	167.5	4.8	76 (72)
卸売業、小売業	315.4	-0.5	187.0	1.9	59 (58)	341.9	-0.7	224.9	3.9	66 (63)	238.7	-0.9	165.8	0.0	69 (69)
金融業、保険業	373.3	-0.9	221.2	-16.1	59 (70)	473.4	0.1	294.9	-21.6	62 (80)	258.2	-2.3	189.1	-6.6	73 (77)
学術研究、専門・技術サービス業	385.9	3.5	349.3	26.9	91 (74)	410.2	3.2	391.5	18.2	95 (83)	285.8	0.5	212.8	3.5	74 (72)
宿泊業、飲食サービス業	257.7	-0.5	177.7	1.3	69 (68)	282.5	-0.5	198.7	0.6	70 (70)	203.3	-0.5	162.3	1.5	80 (78)
生活関連サービス業、娯楽業	273.9	-1.1	181.5	-0.7	66 (66)	305.0	-0.9	193.5	-1.0	63 (63)	225.7	-1.2	173.8	-0.5	77 (76)
教育、学習支援業	399.4	-1.4	241.4	4.2	60 (57)	456.6	-1.0	285.7	8.9	63 (57)	311.6	-2.1	204.9	-0.1	66 (64)
医療、福祉	285.0	0.5	185.4	1.3	65 (65)	368.1	1.1	217.9	-2.6	59 (61)	254.0	0.0	175.9	1.9	69 (68)
サービス業 (他に分類されないもの)	276.1	0.2	196.6	-1.0	71 (72)	293.2	0.1	208.3	2.1	71 (70)	218.6	-0.5	184.1	-4.9	84 (88)

注：1) 産業計には、上掲のほか、鉱業、採石業、砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業、不動産業、物品賃貸業、複合サービス事業を含む。

2) ()内は、平成21年の数値である。

(7) 賃金の分布

賃金の分布を男女別にみると、男性では、年齢階級が高くなるとともに賃金階級の高い層におおむねより多くの労働者が分布している。一方、女性では、35～39歳までは年齢階級が高くなるとともに賃金階級の高い層におおむねより多くの労働者が分布しているが、それ以降は低い賃金階級に多く分布している。

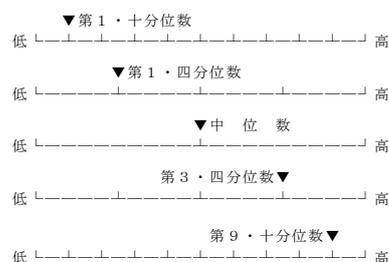
賃金の散らばりをみると、男女いずれも年齢階級が高くなるとともにおおむね大きくなっている。また、学歴別に分位数で広がりを見ると、男女とも大学・大学院卒が他の学歴に比べ、大きくなっている。(第9表、第8図)

第9表 賃金階級、性、年齢階級別労働者数割合(2-1)

賃金階級	男性										
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 99.9 (千円)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
100.0 ～ 119.9	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.6	1.6
120.0 ～ 139.9	0.6	1.1	0.6	0.3	0.2	0.2	0.3	0.4	0.7	1.9	4.2
140.0 ～ 159.9	1.4	3.3	1.6	0.9	0.6	0.7	0.7	0.8	1.4	4.6	7.2
160.0 ～ 179.9	2.8	7.5	3.3	1.8	1.4	1.1	1.2	1.5	2.6	7.3	11.4
180.0 ～ 199.9	4.7	17.8	6.4	3.6	2.1	1.8	1.7	2.0	3.0	9.3	12.2
200.0 ～ 219.9	6.0	22.3	11.2	5.8	3.3	2.4	2.2	2.6	3.3	9.8	9.4
220.0 ～ 239.9	7.6	22.1	17.4	8.9	5.0	3.6	2.8	3.2	4.0	10.1	9.3
240.0 ～ 259.9	8.1	13.4	18.0	12.7	7.3	4.7	3.8	3.6	3.9	7.8	7.2
260.0 ～ 279.9	7.8	6.3	14.2	12.8	8.9	6.0	4.2	4.1	4.7	8.0	6.6
280.0 ～ 299.9	7.0	3.1	10.1	12.1	9.2	6.5	4.7	4.2	4.7	5.4	4.0
300.0 ～ 319.9	6.3	1.1	6.2	10.4	9.8	7.0	4.8	4.2	4.5	4.5	3.6
320.0 ～ 339.9	5.9	0.8	3.6	7.8	9.9	7.1	5.5	5.0	4.9	4.4	3.8
340.0 ～ 359.9	5.2	0.3	2.6	6.2	8.2	7.3	5.7	5.0	4.8	3.1	2.0
360.0 ～ 399.9	4.6	0.1	1.5	4.5	6.6	6.7	6.0	5.4	5.3	2.5	1.6
400.0 ～ 449.9	7.6	0.2	1.6	5.3	10.0	11.6	11.2	10.4	9.6	3.8	3.5
450.0 ～ 499.9	7.5	0.2	0.7	3.2	7.7	11.7	11.9	12.2	11.7	5.7	2.0
500.0 ～ 599.9	5.1	0.0	0.3	1.6	4.0	7.3	9.9	9.5	8.8	2.9	1.9
600.0 ～ 699.9	5.9	0.0	0.3	1.2	3.3	8.0	11.9	12.4	11.5	3.5	3.4
700.0 ～ 799.9	2.7	0.0	0.2	0.4	1.2	3.2	5.9	6.4	5.1	1.9	1.2
800.0 ～ 899.9	1.3	-	0.0	0.2	0.5	1.3	2.4	3.3	2.6	1.3	1.1
900.0 ～ 999.9	0.6	-	0.0	0.1	0.2	0.8	1.2	1.5	1.1	0.6	1.1
1000.0 ～ 1199.9	0.3	-	0.0	0.1	0.2	0.4	0.7	0.8	0.5	0.3	0.3
1200.0 ～	0.3	-	0.0	0.0	0.2	0.3	0.6	0.6	0.5	0.3	0.3
平均値 (千円)	328.3	199.8	236.8	278.4	322.0	370.5	409.2	417.2	392.2	283.2	264.6
第1・十分位数 (千円)	180.8	155.3	174.7	192.5	208.8	220.8	225.9	215.4	192.9	149.1	132.7
第1・四分位数 (千円)	224.0	175.3	202.1	226.1	251.5	273.9	292.8	291.3	264.3	182.6	161.0
中位数 (千円)	291.1	198.0	229.8	265.1	304.0	344.4	381.6	390.1	368.0	236.0	208.2
第3・四分位数 (千円)	393.4	220.8	263.6	313.8	367.5	432.6	489.6	503.2	481.5	328.0	291.0
第9・十分位数 (千円)	515.3	245.5	303.5	372.4	446.3	542.7	614.6	643.9	604.8	467.8	462.0
十分位分散係数	0.57 (0.59)	0.23 (0.23)	0.28 (0.29)	0.34 (0.35)	0.39 (0.40)	0.47 (0.49)	0.51 (0.52)	0.55 (0.56)	0.56 (0.59)	0.68 (0.75)	0.79 (0.75)
四分位分散係数	0.29 (0.29)	0.11 (0.11)	0.13 (0.14)	0.17 (0.17)	0.19 (0.20)	0.23 (0.24)	0.26 (0.26)	0.27 (0.28)	0.30 (0.31)	0.31 (0.32)	0.31 (0.30)

注： 1) 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、全労働者を賃金の低い者から高い者へと一列に並べて、全労働者の所定の何番目かに該当する者の賃金である。図示すれば下図のとおりである。

- 第1・十分位数 …… 低い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金
- 第1・四分位数 …… 低い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 中位数 …… 低い方(あるいは高い方)から数えて全体の2分の1番目に該当する者の賃金
- 第3・四分位数 …… 高い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 第9・十分位数 …… 高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金



2) 分散係数とは、分布の広がりを示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。

一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

$$\text{十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

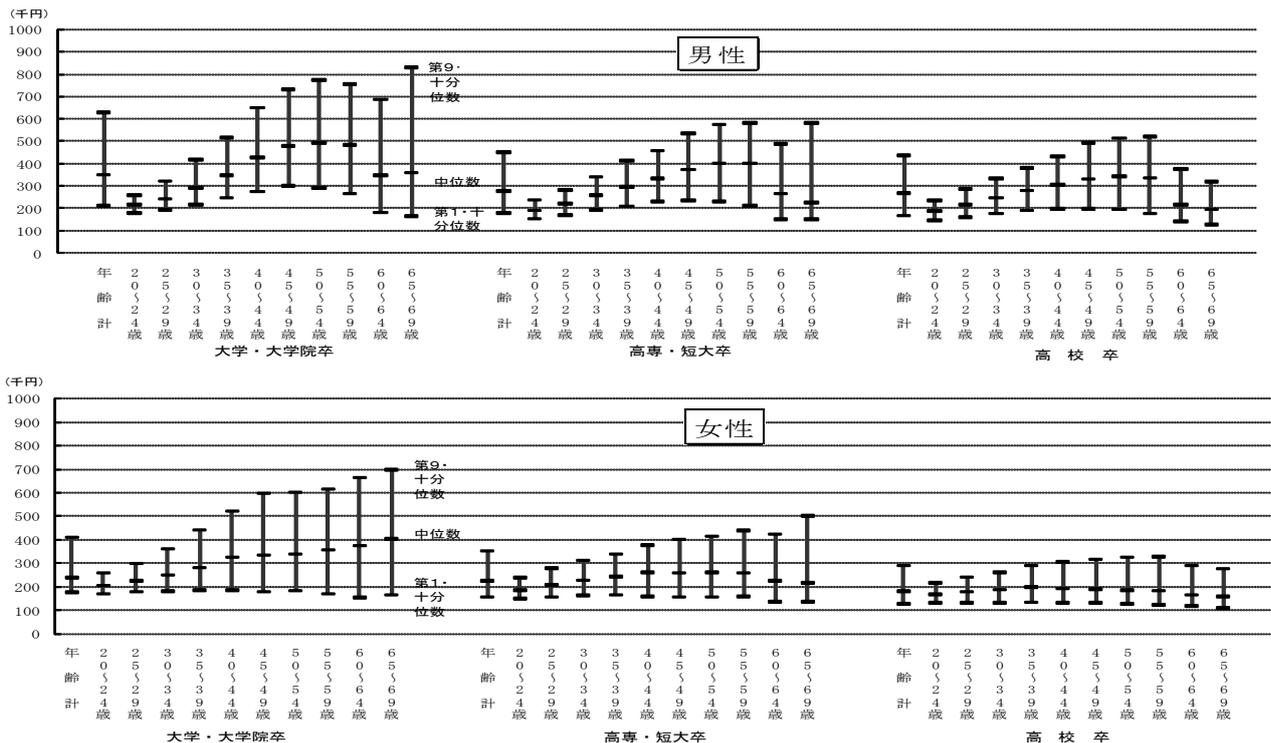
$$\text{四分位分散係数} = \frac{\text{第3・四分位数} - \text{第1・四分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

3) ()内は、平成21年の数値である。

第9表 賃金階級、性、年齢階級別労働者数割合（2-2）

賃金階級	女性										
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 99.9 (千円)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
100.0 ～ 119.9	0.8	0.3	0.3	0.5	0.7	0.9	0.9	1.2	1.3	1.9	3.3
120.0 ～ 139.9	2.8	2.3	1.2	1.5	2.0	2.2	2.9	3.5	4.6	7.9	12.2
140.0 ～ 159.9	6.5	5.4	4.0	4.3	4.6	5.8	6.4	8.1	9.8	15.5	18.0
160.0 ～ 179.9	10.1	12.9	7.6	7.0	7.4	9.1	10.1	10.8	12.5	16.8	15.5
180.0 ～ 199.9	12.7	22.5	11.8	10.5	9.3	10.5	10.8	10.7	12.2	14.0	12.9
200.0 ～ 219.9	12.6	21.5	16.8	12.5	9.8	9.6	9.6	10.3	10.2	9.4	7.4
220.0 ～ 239.9	11.3	16.2	17.5	12.5	10.1	8.3	9.2	7.8	7.8	7.3	7.9
240.0 ～ 259.9	9.7	9.5	14.4	12.9	11.1	8.1	7.2	7.4	7.6	4.9	2.7
260.0 ～ 279.9	7.5	4.5	9.7	10.4	9.9	7.3	6.7	6.4	5.6	3.9	3.2
280.0 ～ 299.9	5.9	2.3	6.7	8.3	9.0	6.8	5.4	5.4	4.5	2.7	2.6
300.0 ～ 319.9	4.5	1.2	3.5	6.2	6.8	6.9	5.4	3.9	4.1	2.4	1.9
320.0 ～ 339.9	3.4	0.7	2.3	4.5	5.2	4.6	4.5	3.8	3.2	2.1	1.5
340.0 ～ 359.9	4.8	0.7	2.7	4.4	6.6	8.0	6.8	6.9	5.2	3.0	1.7
360.0 ～ 399.9	2.7	0.1	0.8	2.4	3.4	4.8	5.0	4.6	3.1	1.6	1.4
400.0 ～ 449.9	1.9	0.0	0.2	1.1	1.8	3.4	3.6	3.7	3.2	2.0	3.0
450.0 ～ 499.9	1.0	-	0.2	0.5	0.9	1.4	1.9	2.0	1.8	1.0	1.4
500.0 ～ 599.9	1.0	0.0	0.1	0.4	0.6	1.4	1.9	2.1	2.1	1.7	1.9
600.0 ～ 699.9	0.4	-	0.0	0.2	0.2	0.5	0.7	0.7	0.7	1.1	0.7
700.0 ～ 799.9	0.2	-	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.6
800.0 ～ 899.9	0.1	-	0.0	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2
900.0 ～ 999.9	0.1	-	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0
1000.0 ～	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
平均値 (千円)	227.6	189.5	215.0	230.7	241.9	247.6	249.1	245.4	231.3	206.1	198.9
第1・十分位数 (千円)	139.8	143.7	152.5	151.0	147.3	142.4	139.3	134.3	129.2	120.4	111.3
第1・四分位数 (千円)	167.9	164.1	180.0	182.0	181.9	173.5	168.4	162.9	154.8	139.7	131.4
中位数 (千円)	207.6	186.0	209.0	221.9	230.2	228.2	220.1	214.0	198.6	170.5	161.6
第3・四分位数 (千円)	263.1	211.4	242.5	266.9	282.6	298.4	301.0	297.8	275.2	229.2	214.5
第9・十分位数 (千円)	336.2	238.2	279.7	315.0	340.0	374.9	389.7	391.2	377.5	337.0	339.0
十分位分散係数	0.47 (0.48)	0.25 (0.26)	0.30 (0.31)	0.37 (0.36)	0.42 (0.44)	0.51 (0.52)	0.57 (0.60)	0.60 (0.64)	0.63 (0.64)	0.64 (0.60)	0.70 (0.58)
四分位分散係数	0.23 (0.23)	0.13 (0.13)	0.15 (0.16)	0.19 (0.18)	0.22 (0.23)	0.27 (0.29)	0.30 (0.31)	0.32 (0.33)	0.30 (0.32)	0.26 (0.25)	0.26 (0.24)

第8図 学歴、性、年齢階級別第1・十分位数、中位数及び第9・十分位数



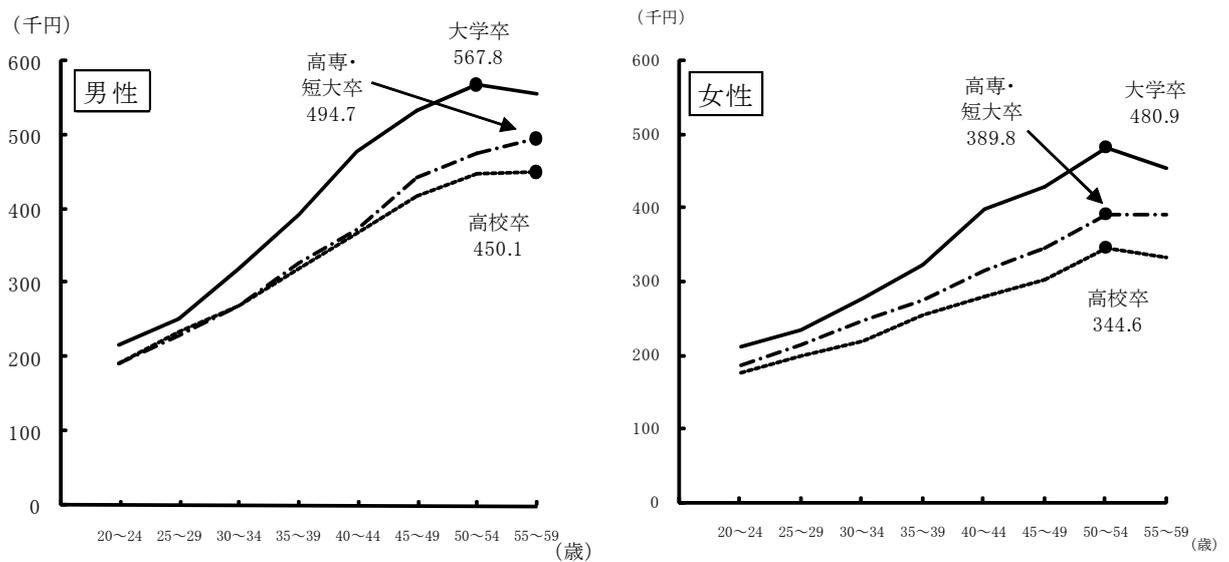
注：第9表 注：1）参照。

(8) 標準労働者の賃金

標準労働者について、賃金がピークとなる年齢階級を学歴別にみると、男性では、大学卒で50～54歳、高専・短大卒及び高校卒で55～59歳、女性では、すべての学歴で50～54歳となっている。

学歴別に20～24歳の賃金を100とすると、男性では、大学で賃金がピークとなる50～54歳で260、高専・短大卒及び高校卒で賃金がピークとなる55～59歳で高専・短大卒が257、高校卒が233、女性では、いずれの学歴も賃金がピークとなる50～54歳で、大学卒が229、高専・短大卒で212、高校卒で196となっている。（第9図、第10表）

第9図 標準労働者の学歴、性、年齢階級別賃金



第10表 標準労働者の学歴、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

性、年齢階級	大学卒			高専・短大卒			高校卒			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	
男性	年齢計	392.4	-0.8	180	303.3	1.6	157	325.2	-0.2	168
	20～24歳	218.1	0.7	100	192.7	-0.6	100	193.0	-1.0	100
	25～29	253.0	-1.9	116	231.3	-0.6	120	236.4	-0.2	122
	30～34	319.9	-1.0	147	270.2	-1.5	140	271.5	-2.8	141
	35～39	392.0	-0.9	180	326.8	-2.7	170	319.4	0.0	165
	40～44	479.0	0.1	220	371.9	-6.2	193	367.4	-0.1	190
	45～49	533.5	-0.4	245	443.2	-1.6	230	418.0	0.8	217
	50～54	567.8	0.9	260	474.6	-3.7	246	448.6	-1.6	232
55～59	556.3	-1.9	255	494.7	-4.7	257	450.1	0.4	233	
女性	年齢計	255.8	-0.4	122	237.3	0.2	129	225.0	-0.4	128
	20～24歳	210.3	1.4	100	184.2	-0.5	100	176.0	0.6	100
	25～29	233.4	-0.3	111	213.1	1.3	116	198.9	-1.2	113
	30～34	276.0	2.0	131	243.9	3.0	132	219.3	-2.5	125
	35～39	321.6	-0.9	153	274.2	-3.8	149	253.9	1.3	144
	40～44	396.5	-3.2	189	312.8	-2.5	170	278.7	-0.9	158
	45～49	427.3	-2.1	203	343.4	-6.1	186	302.4	-3.7	172
	50～54	480.9	1.1	229	389.8	-0.6	212	344.6	2.4	196
55～59	452.2	-11.4	215	389.2	-4.0	211	331.4	-2.4	188	

(9) 製造業における労働者の種類別にみた賃金

製造業について、賃金がピークとなる年齢階級を労働者の種類別にみると、男性では、生産労働者及び管理・事務・技術労働者が50～54歳で、生産労働者330.0千円、管理・事務・技術労働者492.6千円、女性では、生産労働者が35～39歳で186.2千円、管理・事務・技術労働者が45～49歳で261.1千円となっている（第11表）。

第11表 製造業の労働者の種類、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性						女性					
	生産労働者			管理・事務・技術労働者			生産労働者			管理・事務・技術労働者		
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	267.4	0.5	140	387.4	1.5	187	171.6	1.1	105	237.9	2.0	124
20～24歳	190.9	0.5	100	207.7	-0.5	100	162.9	-0.2	100	191.6	0.5	100
25～29	217.7	-0.1	114	246.3	-0.6	119	175.2	-0.1	108	218.5	2.4	114
30～34	245.7	-0.2	129	294.5	-1.0	142	178.7	0.8	110	231.9	2.4	121
35～39	276.4	1.7	145	344.5	-1.0	166	186.2	2.7	114	249.8	3.5	130
40～44	297.5	-0.1	156	410.8	0.8	198	182.1	2.6	112	257.3	3.1	134
45～49	316.2	1.6	166	467.4	1.1	225	176.3	2.6	108	261.1	0.6	136
50～54	330.0	1.7	173	492.6	1.0	237	172.2	2.3	106	259.2	2.9	135
55～59	328.8	0.2	172	487.2	2.5	235	168.6	-0.5	103	257.8	-1.7	135
60～64	228.2	-4.1	120	331.3	-2.4	160	148.4	-1.4	91	203.6	-3.7	106
平均年齢(歳)	40.2			43.1			43.4			38.9		
勤続年数(年)	13.4			17.1			10.4			11.6		

(10) 役職別にみた賃金

企業全体の常用労働者が100人以上の企業について、役職別の賃金をみると、男性では、部長級640.5千円（前年比0.7%増）、課長級514.8千円（同0.2%減）、係長級392.1千円（同1.9%増）、女性では、部長級535.4千円（同5.7%減）、課長級431.5千円（同0.8%増）、係長級342.3千円（同0.7%減）となっている（第12表）。

第12表 役職、性別賃金、対前年増減率、役職・非役職間賃金格差及び平均年齢
(企業規模100人以上)

役職	男性				女性			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	役職・非役職間賃 金格差(非役職者 20～24歳=100)	平均 年齢 (歳)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	役職・非役職間賃 金格差(非役職者 20～24歳=100)	平均 年齢 (歳)
部長級	640.5	0.7	313 (309)	51.9	535.4	-5.7	270 (284)	52.0
課長級	514.8	-0.2	251 (251)	47.5	431.5	0.8	217 (214)	47.9
係長級	392.1	1.9	191 (187)	43.4	342.3	-0.7	172 (172)	43.8
非役職者 (20～24歳)	204.9	-0.4	100 (100)		198.5	-0.8	100 (100)	

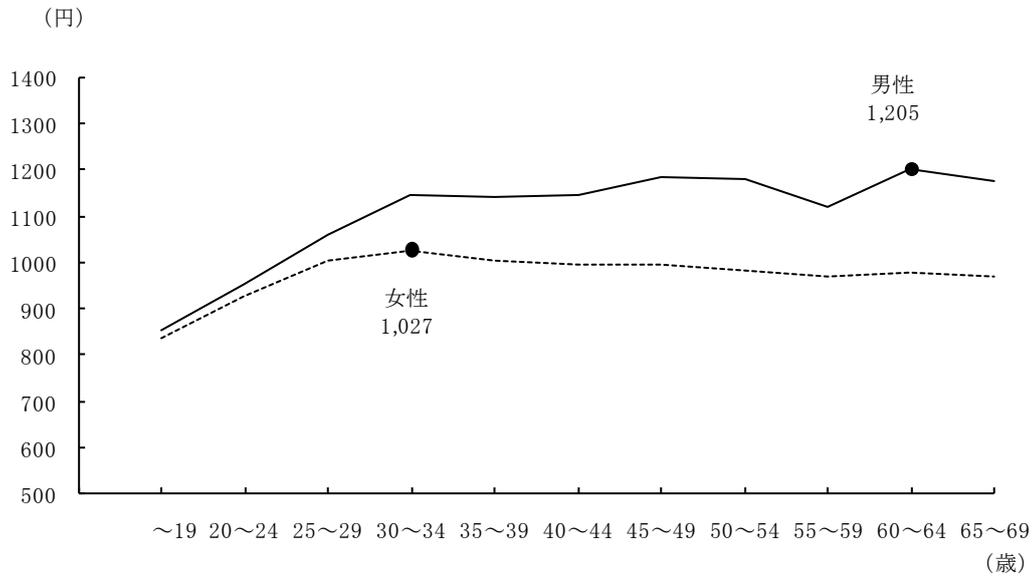
注：()内は、平成21年の数値である。

2 短時間労働者の賃金

(1) 年齢階級別にみた賃金

短時間労働者の1時間当たり賃金は、男性が1,081円（前年比0.5%減）、女性が979円（同0.6%増）となっている。男性では、25～29歳以上は1,000円を超えている。女性では、25～29歳及び30歳台で1,000円台となっており、40歳台以降は900円台となっている。（第10図、第13表）

第10図 短時間労働者の性、年齢階級別1時間当たり賃金



第13表 短時間労働者の年齢階級、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性			女性		
	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	年齢階 級間賃 金格差 (20～24歳 =100)	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	年齢階 級間賃 金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	1,081	-0.5	113	979	0.6	105
～19歳	856	-0.6	90	836	-0.9	90
20～24	953	-1.9	100	928	-1.2	100
25～29	1,061	0.5	111	1,007	0.5	109
30～34	1,150	2.1	121	1,027	-0.4	111
35～39	1,145	-2.2	120	1,007	-1.0	109
40～44	1,149	-2.5	121	995	1.0	107
45～49	1,189	1.2	125	998	1.5	108
50～54	1,185	-3.1	124	983	1.8	106
55～59	1,122	-5.9	118	970	0.3	105
60～64	1,205	-3.6	126	980	2.1	106
65～69	1,181	-0.7	124	969	0.5	104
平均年齢(歳)	41.4			45.1		
平均実労働日数(日)	16.0			17.4		
平均1日当たり所定内実労働時間数(時間)	5.4			5.2		
勤続年数(年)	4.4			5.4		

(2) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に1時間当たり賃金をみると、男性では、大企業が1,043円（前年比0.5%減）、中企業が1,115円（同1.2%減）、小企業が1,096円（同0.3%増）、女性では、大企業が970円（同0.0%）、中企業が1,000円（同0.3%増）、小企業が970円（同1.7%増）となっている（第14表）。

第14表 短時間労働者の企業規模、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び企業規模間賃金格差

企業規模	男性			女性		
	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)
大 企 業	1,043	-0.5	100	970	0.0	100
中 企 業	1,115	-1.2	107	1,000	0.3	103
小 企 業	1,096	0.3	105	970	1.7	100

(3) 産業別にみた賃金

主な産業別に1時間当たり賃金をみると、男性では、製造業、運輸業、郵便業、サービス業（他に分類されないもの）が1,000円を超え、女性では医療、福祉が1,000円を超えている（第15表）。

第15表 短時間労働者の主な産業、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び産業間賃金格差

性、産業		1時間当たり賃金(円)	対前年増減率(%)	産業間賃金格差 (産業計=100)
男 性	産業計	1,081	-0.5	100
	製造業	1,148	-3.0	106
	運輸業、郵便業	1,111	-0.7	103
	卸売業、小売業	975	0.2	90
	宿泊業、飲食サービス業	923	-0.6	85
	サービス業(他に分類されないもの)	1,083	-1.8	100
女 性	産業計	979	0.6	100
	製造業	884	-0.8	90
	卸売業、小売業	913	0.4	93
	宿泊業、飲食サービス業	890	-0.4	91
	医療、福祉	1,213	1.8	124
	サービス業(他に分類されないもの)	944	-2.9	96

注：産業計には、上掲のほか、男女とも、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、複合サービス事業を含み、男性では医療、福祉、女性では運輸業、郵便業を含む。

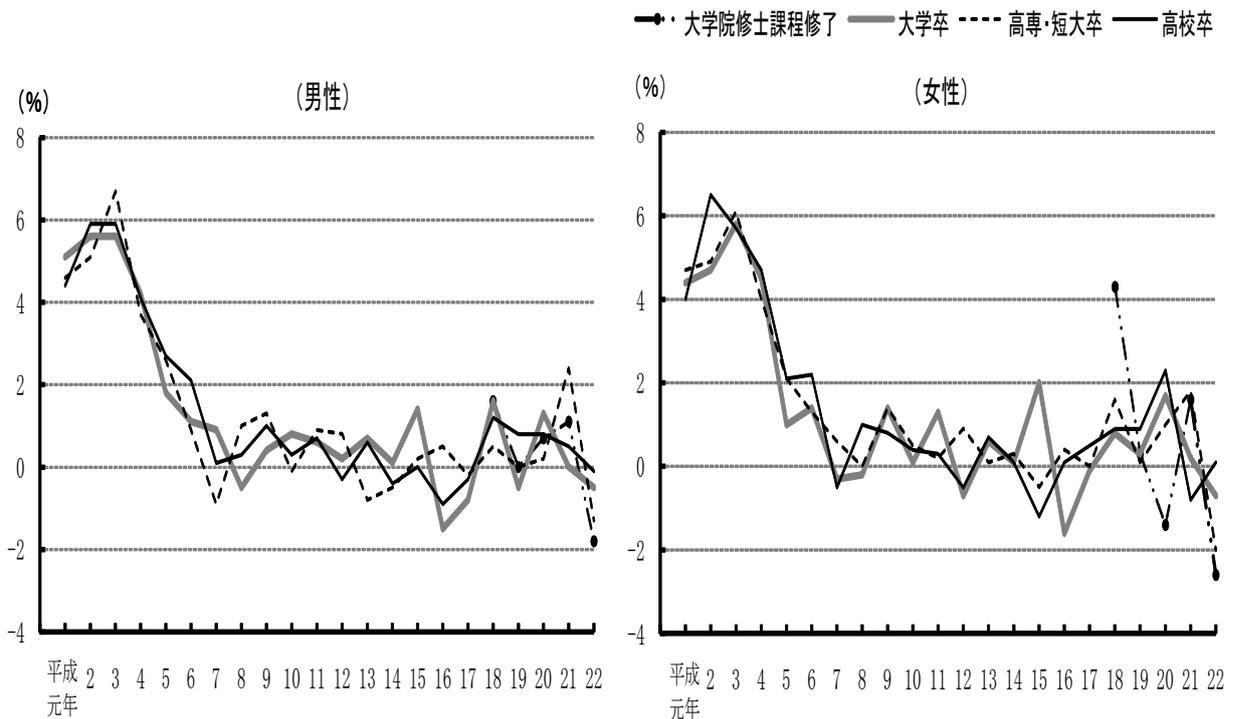
3 新規学卒者の初任給

(1) 学歴別にみた初任給

平成 22 年の初任給を高校卒以上の学歴別にみると、以下のとおりになっている。

男女計	大学院修士課程修了	224.0 千円	(対前年増減率 -1.9%)
	大 学 卒	197.4 千円	(" -0.7%)
	高 専 ・ 短 大 卒	170.3 千円	(" -1.7%)
	高 校 卒	157.8 千円	(" 0.0%)
男性	大学院修士課程修了	224.5 千円	(対前年増減率 -1.8%)
	大 学 卒	200.3 千円	(" -0.5%)
	高 専 ・ 短 大 卒	173.6 千円	(" -1.3%)
	高 校 卒	160.7 千円	(" -0.1%)
女性	大学院修士課程修了	221.2 千円	(対前年増減率 -2.6%)
	大 学 卒	193.5 千円	(" -0.7%)
	高 専 ・ 短 大 卒	168.2 千円	(" -2.0%)
	高 校 卒	153.2 千円	(" 0.1%)

第11図 性、学歴別初任給の対前年増減率の推移



注：大学院修士課程修了については、平成17年から調査している。

男女計では、高校卒を除き前年を下回っている。

これを男女別にみると、女性の高校卒を除くすべての学歴で、男女とも前年を下回っている。

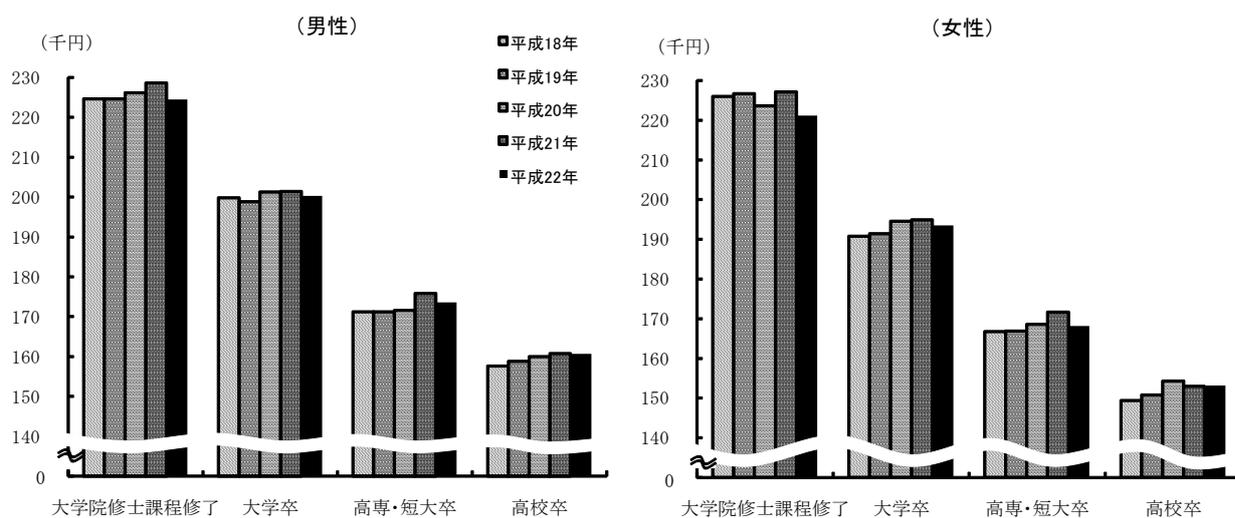
(第11図、第16表、第12図)

第16表 性、学歴別初任給の推移

年	男女計				男性				女性			
	大学院修士課程修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院修士課程修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院修士課程修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒
平成 18年	千円 224.8 (2.0)	千円 196.3 (1.2)	千円 168.5 (1.1)	千円 154.4 (1.0)	千円 224.6 (1.6)	千円 199.8 (1.6)	千円 171.2 (0.5)	千円 157.6 (1.2)	千円 226.0 (4.3)	千円 190.8 (0.8)	千円 166.8 (1.6)	千円 149.4 (0.9)
19	225.0 (0.1)	195.8 (-0.3)	168.5 (0.0)	155.7 (0.8)	224.6 (0.0)	198.8 (-0.5)	171.2 (0.0)	158.8 (0.8)	226.7 (0.3)	191.4 (0.3)	166.9 (0.1)	150.8 (0.9)
20	225.9 (0.4)	198.7 (1.5)	169.7 (0.7)	157.7 (1.3)	226.2 (0.7)	201.3 (1.3)	171.6 (0.2)	160.0 (0.8)	223.6 (-1.4)	194.6 (1.7)	168.6 (1.0)	154.3 (2.3)
21	228.4 (1.1)	198.8 (0.1)	173.2 (2.1)	157.8 (0.1)	228.6 (1.1)	201.4 (0.0)	175.8 (2.4)	160.8 (0.5)	227.1 (1.6)	194.9 (0.2)	171.7 (1.8)	153.0 (-0.8)
22	224.0 (-1.9)	197.4 (-0.7)	170.3 (-1.7)	157.8 (0.0)	224.5 (-1.8)	200.3 (-0.5)	173.6 (-1.3)	160.7 (-0.1)	221.2 (-2.6)	193.5 (-0.7)	168.2 (-2.0)	153.2 (0.1)

注: ()内は、対前年増減率(%)である。

第12図 性、学歴別初任給の推移



(2) 企業規模別にみた初任給

企業規模別の初任給を学歴別にみると、大学卒では、大企業（常用労働者1,000人以上）及び中企業（同100～999人）で男女ともに前年を下回っている。一方、小企業（同10～99人）の男女は、ともに前年を上回っている。また、高校卒では、大企業で男女ともに前年を下回っている。一方、中企業及び小企業の男女は、ともに前年を上回っている。

初任給の企業規模間格差（大企業＝100）をみると、大学卒では、小企業で男女ともに格差が縮小している。高校卒では、小企業の男性を除き格差が縮小している。（第17表）

第17表 性、企業規模、学歴別初任給及び対前年増減率、企業規模間格差の推移

性、企業規模			大学院修士課程修了			大 学 卒			高専・短大卒			高 校 卒		
			初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)									
			平成22年	21年		平成22年	21年		平成22年	21年		平成22年	21年	
初任給 及び 対前年 増減率	男女計	企業規模計	224.0	228.4	-1.9	197.4	198.8	-0.7	170.3	173.2	-1.7	157.8	157.8	0.0
		大企業	227.0	229.3	-1.0	198.3	200.4	-1.0	174.6	182.3	-4.2	158.9	161.4	-1.5
		中企業	219.5	227.0	-3.3	197.2	199.1	-1.0	170.8	175.0	-2.4	156.8	155.6	0.8
		小企業	218.5	221.3	-1.3	195.9	192.6	1.7	168.3	165.6	1.6	158.3	156.4	1.2
	男性	企業規模計	224.5	228.6	-1.8	200.3	201.4	-0.5	173.6	175.8	-1.3	160.7	160.8	-0.1
		大企業	226.9	229.0	-0.9	201.2	203.4	-1.1	177.7	179.3	-0.9	160.0	162.0	-1.2
		中企業	219.7	228.6	-3.9	199.7	201.1	-0.7	172.7	177.6	-2.8	159.1	158.1	0.6
		小企業	224.1	222.3	0.8	199.8	195.4	2.3	172.2	168.2	2.4	163.7	163.3	0.2
	女性	企業規模計	221.2	227.1	-2.6	193.5	194.9	-0.7	168.2	171.7	-2.0	153.2	153.0	0.1
		大企業	227.1	231.8	-2.0	194.5	195.9	-0.7	171.5	184.9	-7.2	156.6	159.6	-1.9
		中企業	218.8	222.3	-1.6	193.4	196.0	-1.3	168.8	173.1	-2.5	153.4	152.5	0.6
		小企業	204.7	219.6	-6.8	191.5	189.6	1.0	167.0	164.9	1.3	151.1	148.2	2.0
企業規模間格差	男女計	中企業	97	99	/	99	99	/	98	96	/	99	96	/
		小企業	96	97	/	99	96	/	96	91	/	100	97	/
	男性	中企業	97	100	/	99	99	/	97	99	/	99	98	/
		小企業	99	97	/	99	96	/	97	94	/	102	101	/
	女性	中企業	96	96	/	99	100	/	98	94	/	98	96	/
		小企業	90	95	/	98	97	/	97	89	/	96	93	/

注：1） 常用労働者1,000人以上の企業を大企業、100～999人の企業を中企業、10～99人の企業を小企業としている。
2） 企業規模間格差は、大企業の初任給を100としている。

(3) 産業別にみた初任給

主要産業別の初任給を学歴別にみると、大学卒では、男性は生活関連サービス業、娯楽業（224.6千円）、女性は情報通信業（209.7千円）が最も高くなっている。一方、最も低い産業は、男性は医療、福祉（187.8千円）、女性はサービス業（他に分類されないもの）（183.3千円）となっている。高校卒では、男女ともに生活関連サービス業、娯楽業（男性170.1千円、女性165.5千円）が最も高くなっている。一方、最も低い産業は、男性は金融業、保険業（144.7千円）、女性は教育、学習支援業（146.4千円）となっている。（第18表）

第18表 性、産業、学歴別初任給及び対前年増減率の推移

性、産業	大学院修士課程修了			大学卒			高専・短大卒			高校卒			
	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	
	平成22年	21年		平成22年	21年		平成22年	21年		平成22年	21年		
男	産業計	224.0	228.4	-1.9	197.4	198.8	-0.7	170.3	173.2	-1.7	157.8	157.8	0.0
	建設業	223.3	223.3	0.0	198.3	198.3	0.0	175.0	174.9	0.1	162.1	167.1	-3.0
	製造業	224.1	226.7	-1.1	201.1	200.9	0.1	172.1	174.3	-1.3	159.7	158.5	0.8
	情報通信業	225.3	238.4	-5.5	211.9	210.9	0.5	180.8	177.3	2.0	158.5	168.5	-5.9
	運輸業、郵便業	215.0	217.5	-1.1	189.3	191.7	-1.3	170.6	175.1	-2.6	157.6	159.9	-1.4
	卸売業、小売業	215.1	231.4	-7.0	197.7	198.6	-0.5	170.5	169.2	0.8	158.0	157.6	0.3
	金融業、保険業	211.9	226.8	-6.6	188.6	190.5	-1.0	155.3	160.8	-3.4	148.8	139.0	7.1
	学術研究、専門・技術サービス業	233.6	229.2	1.9	206.4	209.9	-1.7	166.9	168.3	-0.8	160.8	167.7	-4.1
	宿泊業、飲食サービス業	* 200.0	180.3	10.9	191.9	197.8	-3.0	163.4	169.4	-3.5	154.7	152.3	1.6
	生活関連サービス業、娯楽業	212.3	211.7	0.3	216.3	201.8	7.2	168.3	165.0	2.0	166.9	164.9	1.2
女	教育、学習支援業	226.2	240.0	-5.8	199.3	201.5	-1.1	173.8	171.5	1.3	154.9	152.8	1.4
	医療、福祉	215.7	220.9	-2.4	192.7	192.6	0.1	170.3	177.0	-3.8	147.4	145.6	1.2
	サービス業 (他に分類されないもの)	213.9	234.2	-8.7	190.1	188.0	1.1	164.2	167.0	-1.7	155.2	155.9	-0.4
	産業計	224.5	228.6	-1.8	200.3	201.4	-0.5	173.6	175.8	-1.3	160.7	160.8	-0.1
	建設業	224.1	223.2	0.4	200.5	198.4	1.1	176.3	175.1	0.7	162.7	168.5	-3.4
	製造業	224.4	226.9	-1.1	202.1	202.1	0.0	174.7	177.0	-1.3	161.7	160.1	1.0
	情報通信業	224.3	240.5	-6.7	213.1	209.5	1.7	180.1	178.5	0.9	168.9	175.3	-3.7
	運輸業、郵便業	215.5	217.4	-0.9	190.3	194.9	-2.4	178.0	176.1	1.1	158.5	160.5	-1.2
	卸売業、小売業	216.8	231.8	-6.5	200.3	200.2	0.0	170.4	169.0	0.8	160.6	160.0	0.4
	金融業、保険業	212.5	224.9	-5.5	193.6	196.0	-1.2	179.7	174.8	2.8	144.7	155.2	-6.8
男	学術研究、専門・技術サービス業	234.7	229.0	2.5	208.1	212.8	-2.2	167.4	172.3	-2.8	155.9	171.5	-9.1
	宿泊業、飲食サービス業	- *	188.8	-	194.9	203.4	-4.2	163.8	178.0	-8.0	157.5	157.9	-0.3
	生活関連サービス業、娯楽業	215.1	215.5	-0.2	224.6	210.9	6.5	174.1	167.8	3.8	170.1	168.4	1.0
	教育、学習支援業	231.1	238.1	-2.9	201.2	213.2	-5.6	177.6	176.3	0.7	159.0	146.3	8.7
	医療、福祉	213.3	* 232.7	-8.3	187.8	191.9	-2.1	180.0	183.5	-1.9	145.0	150.2	-3.5
	サービス業 (他に分類されないもの)	216.0	230.1	-6.1	192.7	190.2	1.3	164.9	172.3	-4.3	158.5	157.3	0.8
	産業計	221.2	227.1	-2.6	193.5	194.9	-0.7	168.2	171.7	-2.0	153.2	153.0	0.1
	建設業	218.1	225.5	-3.3	190.4	197.1	-3.4	170.2	174.5	-2.5	155.2	152.5	1.8
	製造業	222.2	224.8	-1.2	197.6	197.5	0.1	167.3	170.4	-1.8	153.9	154.1	-0.1
	情報通信業	230.8	229.2	0.7	209.7	213.3	-1.7	182.2	174.5	4.4	150.8	156.4	-3.6
運輸業、郵便業	210.1	218.6	-3.9	187.7	184.9	1.5	162.5	174.1	-6.7	155.6	157.9	-1.5	
卸売業、小売業	212.0	230.0	-7.8	193.7	195.9	-1.1	170.7	169.5	0.7	155.7	156.5	-0.5	
女	金融業、保険業	208.7	238.3	-12.4	184.1	186.1	-1.1	155.1	160.4	-3.3	148.9	137.7	8.1
	学術研究、専門・技術サービス業	228.6	229.8	-0.5	203.3	205.7	-1.2	166.5	164.2	1.4	164.7	158.9	3.7
	宿泊業、飲食サービス業	* 200.0	* 164.8	21.4	188.7	192.4	-1.9	163.1	162.7	0.2	153.2	149.6	2.4
	生活関連サービス業、娯楽業	* 201.0	* 207.3	-3.0	204.3	190.1	7.5	164.4	163.9	0.3	165.5	163.3	1.3
	教育、学習支援業	220.6	242.5	-9.0	198.7	195.8	1.5	173.6	171.3	1.3	146.4	154.3	-5.1
	医療、福祉	217.5	210.9	3.1	195.0	192.9	1.1	168.1	175.6	-4.3	147.9	143.9	2.8
	サービス業 (他に分類されないもの)	200.7	239.9	-16.3	183.3	185.6	-1.2	162.5	161.6	0.6	150.3	153.0	-1.8

注：1 産業計には、上掲の産業のほか、鉱業、採石業、砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業、不動産業、物品賃貸業、複合サービス事業を含む。
 2 「*」は、新規学卒採用者が少ない等、利用に際し注意を要する。
 3 「-」は、新規学卒採用者がいない。

(4) 初任給の分布

初任給の分布をみると、大学卒では、男女とも20万円台が最も多く、それぞれ35.3%、28.1%となっている。高校卒では、男性で16万円台が最も多く（39.1%）、女性で15万円台が最も多く（27.1%）となっている。（第19表）

第19表 初任給の階級、性、学歴別新規学卒採用者数割合

初任給の階級	男 女 計				男性				女性			
	大学院 修士課程 修了	大 学 卒	高専・短大卒	高 校 卒	大学院 修士課程 修了	大 学 卒	高専・短大卒	高 校 卒	大学院 修士課程 修了	大 学 卒	高専・短大卒	高 校 卒
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
千円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 109.9				0.4				0.5				0.2
110.0 ～ 119.9				0.7				0.5				1.2
120.0 ～ 129.9			0.7	3.5			0.6	2.1		0.9		5.8
130.0 ～ 139.9			3.4	7.4			3.3	4.5		3.5		11.8
140.0 ～ 149.9		1.9	10.8	13.1		1.1	7.0	9.7		2.9	13.1	18.4
150.0 ～ 159.9		2.3	15.4	24.6		1.8	11.7	23.0		3.0	17.8	27.1
160.0 ～ 169.9	0.3	4.8	20.9	32.9	0.2	3.4	21.3	39.1	1.0	6.8	20.6	23.4
170.0 ～ 179.9	0.5	10.8	20.6	10.9	0.6	8.4	23.9	14.0	0.6	14.2	18.5	6.1
180.0 ～ 189.9	1.9	11.1	13.4	3.6	1.5	9.8	16.1	3.8	3.8	12.9	11.7	3.3
190.0 ～ 199.9	3.9	16.2	6.7	0.8	4.0	17.2	7.0	0.6	3.5	14.8	6.5	1.2
200.0 ～ 209.9	9.1	32.3	2.9	2.0	8.2	35.3	1.9	2.4	13.8	28.1	3.6	1.6
210.0 ～ 219.9	18.3	9.2	2.9		17.4	11.4	3.2		22.7	6.1	2.7	
220.0 ～ 229.9	41.5	4.4	1.1		43.9	3.6	2.3		30.8	5.4	0.3	
230.0 ～ 239.9	12.3	2.7	1.3		13.0	2.9	1.9		9.0	2.5	1.0	
240.0 ～ 249.9	6.1	1.5			5.9	1.5			7.1	1.4		
250.0 ～ 259.9	3.4	1.4			3.1	1.6			5.0	1.2		
260.0 ～ 269.9	0.9	1.2			0.8	1.7			1.7	0.6		
270.0 ～ 279.9	0.3				0.3				0.4			
280.0 ～ 299.9	0.5				0.5				0.4			
300.0 ～	0.8	0.2			0.8	0.3			0.4	0.1		
平均額(千円)	224.0 (228.4)	197.4 (198.8)	170.3 (173.2)	157.8 (157.8)	224.5 (228.6)	200.3 (201.4)	173.6 (175.8)	160.7 (160.8)	221.2 (227.1)	193.5 (194.9)	168.2 (171.7)	153.2 (153.0)
第1・十分位数(千円)	204.2 (208.1)	171.0 (172.4)	145.6 (148.1)	136.8 (138.4)	206.1 (210.3)	173.8 (175.6)	148.8 (151.7)	142.3 (146.1)	202.1 (202.1)	166.7 (168.7)	144.4 (145.8)	131.5 (130.7)
中位数(千円)	225.9 (227.7)	200.5 (200.8)	169.4 (171.4)	160.0 (160.2)	226.6 (227.7)	201.4 (201.8)	172.8 (173.0)	161.6 (161.3)	221.2 (227.8)	196.2 (195.5)	167.0 (170.4)	154.1 (154.2)
第9・十分位数(千円)	242.4 (247.9)	221.6 (221.9)	193.7 (200.5)	176.1 (174.1)	241.6 (244.8)	222.2 (222.1)	196.6 (201.7)	176.6 (175.7)	244.9 (251.8)	221.0 (221.7)	192.2 (200.1)	171.5 (172.1)
十分位分散係数	0.08 (0.09)	0.13 (0.12)	0.14 (0.15)	0.12 (0.11)	0.08 (0.08)	0.12 (0.12)	0.14 (0.14)	0.11 (0.09)	0.10 (0.11)	0.14 (0.14)	0.14 (0.16)	0.13 (0.13)

注：1） 百分数とは、分布の形を示す値である。具体的には、新規学卒採用者を初任給の低い者から高い者へと一列に並べて、低い方から全体の10分の1番目に該当する者の初任給が第1・十分位数、高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の初任給が第9・十分位数、低い方（あるいは高い方）から数えて全体の2分の1番目（真ん中）に該当する者の初任給が中位数である。

2） 十分位分散係数とは、分布の広がり（ばらつき）を示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

$$\text{十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

3） （ ）内は、平成21年の数値である。

